

調達案件番号 010001001020190170

調達案件名称 (特定調達)道場三室線2工区(仮称)西堀日向トンネル築造工事

入札方式 一般競争入札(標準)

管理番号 000001

題名 質問書

- 1 土質調査、ボーリングデータ等について開示頂きたく、ご教示ください。
仮契約後、受注予定者に資料提供します。
- 2 仮設山留工の設計資料について開示頂きたく、ご教示ください。
仮契約後、受注予定者に資料提供します。
- 3 数量計算書について開示頂きたく、ご教示ください。
仮契約後、受注予定者に資料提供します。
- 4 図面番号 5 標準横断図について、分離帯ブロック部が別途施工となっておりますが、当該部分の基層、路盤工仕上げ仕様について、ご教示ください。
基層及び路盤工の施工可能範囲の施工を行い、分離帯ブロック部については、将来工事にて施工を予定しております。
- 5 図面番号 6～13 荒造成横断図、図面番号 16～21 地盤改良工について、施工基面の数値に違いがあります。施工基面の設定方法について、ご教示ください。
地盤改良工横断図の設定が正になります。
詳細の施工基面については、図面番号 17 の数量表を参照ください。

- 6 図面番号 6～13 荒造成横断図に表示されている、県水道部分について、施工乗り込み時の設置状況をご教示ください。

図面番号 6～13 に表示されている県水道については、施工完了済となります。

- 7 図面番号 22 県道交差部土留欠損部地盤改良工図に表示される県水道部分について、栈橋施工部は撤去済みでしょうか。施工乗り込み時状況をご教示ください。

県道交差部に県水道管は存置されております。

本工事の進捗に従い、撤去することを予定しています。

尚、本行為については、協議対象と考えております。

- 8 図面番号 22 県道交差部土留欠損部地盤改良工図に表示されるガス管部分について、特記仕様書では切り回し済みで、本工事施工時に撤去予定となっておりますが、施工乗り込み時の状況をご教示ください。

県道交差部の瓦斯管については、事前協議の結果、瓦斯事業者にて切回しを予定しています。切回し時期については、瓦斯事業者より今年度内には完了予定との回答を受けております。尚、瓦斯管撤去につきましては、特記仕様書記載のとおりとなっております。

- 9 路体盛土については、図面番号 15 のとおり、本工事では N033 までの施工でしょうか、ご教示ください。

上記記載のとおりを予定しております。

No. 34 以降については、図面 P331 の施工基面と設定しております。

- 10 図面番号 22 県道交差部土留欠損部地盤改良工図に表示されるガス管部分について、特記仕様書では切り回し済みで、本工事施工時に撤去予定となっておりますが、施工乗り込み時の状況をご教示ください。

本質問内容は、上記 No. 8 と同内容と理解したため、省略致します。

- 11 図面番号 305 において 4 号貯留槽放流管施工図面がありますが、3 号貯留槽側には同様の図面がありません。別途施工範囲でしょうか、ご教示ください。

図面番号 281、289、297 に記載の放流管及び越流管は本工事です。

- 12 仮設鋼矢板土留において3箇所の止水鋼矢板を配置計画されており、それによって設計水位を場合分けされていると思われませんが、その考え方についてご教示ください。
- 起点～No. 33+10 付近の鋼矢板先端は、不透水層である Dc2 層に根入れしています。
終点部の鋼矢板先端は、不透水層である Dc1 層を貫通して設定している隣接鋼矢板の長さに合わせて設定しています。
- 13 図面番号 330～336 立体交差仮設全体横断図において、床堀を領域 A～C に分けられていますが、その各仕様についてご教示ください。
- 国土交通省 土木工事数量算出要領による区分です。
A：施工基面～最上段切梁下部 1m以下
B：施工基面から 5m以下
C：施工基面から 5mを超え 20m以下の部分
- 14 図面番号 330～336 立体交差仮設全体横断図において、鋼矢板、連続地中壁と U 型擁壁、カルバート躯体が近接している箇所が多く有りますが、当該部分は土留を埋め殺しの裏型枠として考えられているのでしょうか、ご教示ください。
- 質問に記載されているとおりと考えております。
- 15 図面番号 315 構造物撤去工平面図に、県道脇（安楽亭）のコンクリート擁壁、ブロック積擁壁の撤去がありますが、撤去時の法面安定処置等についてはどのようにお考えですか、ご教示ください。
- 法面安定処理については、考慮しておりません。撤去の際に影響を及ぼす範囲については、隣接地権者と交渉を行い必要であれば補償案件と考えております。
- 16 図面番号 384 の通り、工事中進入路は東側与野中通りからのアクセスと思われませんが、土砂、資材、機械等の運搬経路としては、このルートが規定されているのでしょうか、ご教示ください。
- 資機材等の運搬経路については、上記の記載ルートの他に「県道大谷本郷さいたま線」「新大宮バイパス」からのルートを想定しております。以上の想定ルートを基に、交通誘導員の配置を考慮しております。（質問書 No. 29 に対応）
- 17 質問番号 16 に関して、県道大谷本郷さいたま線、市道（21 号、55 号、56 号、68 号、71 号からのアクセスについての規制について、ご教示ください。
- 上記の県道、市道についての規制はありませんが、市道については、周辺住民の方々利用や通過車両による影響を考慮して施工をして頂きたいと考えております。
- 尚、毎年度地元説明会を実施しております。その際に、工事内容の他に市道の利用方法

等や通行規制が生じる場合等の説明や周辺住民の方々への周知をして頂くことになり
ます。

- 18 質問番号 16 に関して、NO. 25 以西の 17 号バイパスからのアクセスは可能でしょうか、
ご教示ください。

No. 16 の回答にて本質問の回答と考えます。

- 19 数量総括表 1/27 道路土工、7/27 カルバート作業土工ほか、土量配分計算の確認が難
しく、土量計算書等をまとめられていれば開示いただきたく、ご教示ください。

仮契約後、受注予定者に資料提供します。

- 20 質問 19 に関して、汚染土処分 3770m³ の計算について、ご教示ください。

汚染土が含まれると想定される土層より計算しております。

- 21 質問 19 に関して、建設汚泥運搬費 7060m³、処分費（モルタル混入土）5360m³ の計算
について、ご教示ください。※連続地中壁工の排泥量が示されていません。

仮契約後、受注予定者に資料提供します。

尚、連続地中壁工の排泥量は、5360m³ に含まれています。

- 22 特記仕様書 第 6 条 設計・積算条件における特記事項 (1) 土工（掘削工、作業土
工）において、作業土工（地下水位以下）については、自走式改良機にて石灰改良後に
搬出となっていますが、土砂運搬仮置き、改良場所はどのように考えられていますか、
ご教示ください。

掘削箇所（構内）にての改良及び本工事範囲内での土砂運搬仮置き、改良と考えて
おります。

- 23 自然由来の鉛、ヒ素の基準値超過土の想定している処分先または運搬距離を教えてください。

運搬距離については、概ね 25 km 以内として、処分先は、運搬距離以内の施設と
して積算しております。

- 24 自然由来の鉛、ヒ素の基準値超過土の運搬は『残土処理工-土砂等運搬（標準、BH0. 8m³、
土砂、有、60km 以下）』の 48,560m³ に含まれているのでしょうか。

含まれておりません。

25 防水工の保護ボードについて、図番 244, 245 では厚さ 6mm、工事仕様書代価表第 0039 号 (WB440260) ではアスファルト系厚さ 10mm となっています。どちらが正しいでしょうか。

厚さ 6mm として積算しております。

26 設計図では壁高欄に収縮目地が記載されていますが、工事仕様書に項目、数量がありません。設計変更対象でしょうか。

第 44 号内訳書 壁高欄の「目地板」を参照ください。

27 図番 347 に埋戻し（流動化処理）の記載がありますが、工事仕様書に項目、数量がありません。設計変更対象でしょうか。

図面番号 347 「埋戻し（流動化処理）」について、誤記となります。

本工事の埋戻しについては、再生砂で積算しております。

28 特記仕様書道場三室線 2 工区（仮称）西堀日向トンネル築造工事 工事工程表（案）において、親杭パネル、景観パネル、PC 壁体がカルバート、U 型擁壁等の土工、躯体工事より先行施工となっていますが、その理由は側道部分の作業エリアの先行確保とお考えでしょうか、ご教示ください。

記載されている内容のとおり、側道部分の作業エリアの先行確保を考慮して、工事工程表（案）を作成しております。

29 工事工程表（案）に示されている交通誘導員について、交通誘導員 A : 1 人、交通誘導員 B : 13 人とありますが、その具体的な配置場所をご教示ください。

別紙資料の交通誘導員配置根拠資料をご参照ください。